日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

裾野麗峰山の会 (sine１９９４)

第２８期・１２巻　　２０２３年　　３月号　　NO. 259

仲間と仲間を結ぶ機関誌

れいほう

Susono Reihou Alpine Club

雪の記憶

山行 NO.2008
2023/02/18
富士山・宝永山

2023 年度・03 月度例会資料　　2023/03/04

１．報告・当面の予定

０１月２２日（日）会＝第５回・理事会・・・Ｋ姉御、出席

２２日（日）個＝金時山（新柴）　２名・・・夫婦で上る

２５日（水）個＝伊豆ウオーキング　恋人岬～土肥　１６・・・土肥桜見事！！

２８日（土）個＝鳴虫山　１＋１１

２９日（日）個＝雲竜渓谷　１＋１１

２８日（日）会＝湯河原・幕山　６・・・Ｇ怪我後、初登山

０２月０４日（土）会＝宝永山２３５２ｍ峰・・・Ｉのみ登頂。

０６日（月）個＝木曽福島スキー場　１＋２・・・山岳スキー訓練

１１日（土）個＝二つ塚　１・・・スキー訓練

１２日（日）個＝発端丈山　１＋１９・・・城山～三津

１６日（木）個＝八丁池　６・・・池は半氷だった

１８日（土）会＝宝永山　４・・・本体＝宝永分岐まで・分隊＝2352m 下部楽園、上部強風

２．訃報・・・長く県連理事長を務めた、安倍っ子山の会の草野民義（80）さんが、１月末亡くなりました。県連のため尽力された方でした。あの「日焼けした人懐っこい破顔」と「オヤジギャグ（駄洒落）」が懐かしい。合掌

３．事故報告・・・12/18　山登歩　石谷山（びく石・笹川コース）　74 歳・男

山頂近くの緩やかな斜面で転倒。右アキレス腱部分断裂・・・県連に未届けだった。

４．寄贈会報とピックアップ

「あしたか」　沼津勤労者山岳会　２月号　NO.表記ナシ　P5　電子版

予定＝真富士山、硫黄岳、桧洞丸、だいらぼう、貫ヶ岳。報告＝二ッ塚・雪上訓練、位牌岳、ほか

「あさぎり」　あさぎり山の会　２月号　NO.352　P45　電子版

報告＝湖西連峰・平尾山、蓼科山（スズラン峠）、箱根・三国山、宝永山、横岳・杣添尾根（雪が少ない・未登）、秋葉山、長者ヶ岳～白水山。計画書＝前掛山、九鬼山、南伊豆歩道（入間～妻良）、樹海とパノラマ台、ほか

「甲斐峰」　山梨山の会　２月号　NO,309　P15　電子版

報告＝表紙写真は、内田さんの１月阿弥陀岳北稜、事務局報告、リレーエッセイ「赤い半纏」（編者も使っている）、山道具メンテナンス。記録＝ミドリ池、干支の山（ウサギを祭る神社・天上山）、笹子川バリ・高川山北尾根、ほか。

「ハイキングだより」　新潟・みちぐさハイキングクラブ　１月号　NO.341　P12　電子版

報告＝新年登山・大力山（甘酒で乾杯）、ラッセル講習会・三ノ峠。山行一覧、会務報告、など

山行ブログ・・・ https://mitigusahc.fc2.net/

阿寺山、鍋割山スキー、大力山、天神尾根、天水山」

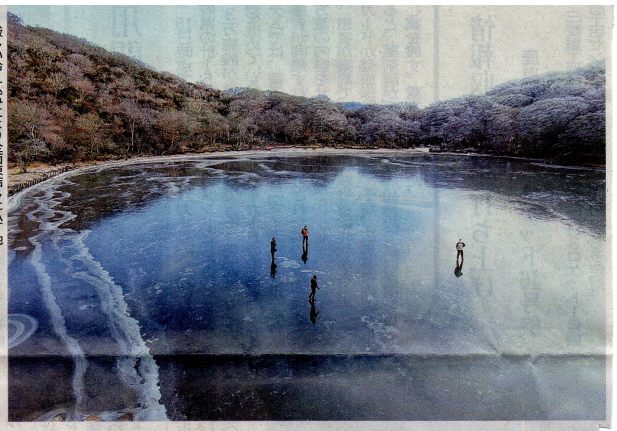
「竜爪ミニ」　静岡勤労者山岳会　２月号・・・お知らせなど

当面の行事・山行予定（原則、定例ハイクは、毎月、巡礼・富士山ウオーク週がある土曜日です。諸般の事情で、予定変更あります。３月から第４週ハイクは、日曜日です）

日	曜	５月	日	曜	３月	日	曜	４月
1	月		1	水		1	土	
2	火		2	木		2	日	
3	水		3	金	アルパイン	3	月	
4	木	連休山行	4	土	杣添尾根	4	火	
5	金		5	日	第 57 回・県連総会	5	水	
6	土		6	月		6	木	
7	日		7	火		7	金	
8	月		8	水	伊豆巡礼	8	土	
9	火		9	木		9	日	
10	水	伊豆巡礼	10	金		10	月	ＭＭさん、誕生日
11	木		11	土	定例ハイク	11	火	
12	金		12	日		12	水	伊豆巡礼
13	土	定例ハイク	13	月		13	木	
14	日		14	火		14	金	
15	月		15	水		15	土	
16	火		16	木		16	日	
17	水		17	金	↓ＫＳさん誕生日	17	月	
18	木		18	土	アルパイン	18	火	ＫＹさん、誕生日
19	金		19	日		19	水	
20	土	アルパイン	20	月		20	木	
21	日		21	火		21	金	
22	月		22	水	伊豆ウオーク	22	土	
23	火		23	木		23	日	
24	水	伊豆ウオーク	24	金		24	月	
25	木		25	土		25	火	
26	金		26	日	定例ハイク（第４週）	26	水	伊豆ウオーク
27	土		27	月		27	木	
28	日	定例ハイク（第４週）	28	火		28	金	
29	月		29	水		29	土	
30	火		30	木		30	日	
31	水		31	金		31	火	連休山行

切り抜き帳

静岡新聞から転載



厳しい冷え込みにより全面凍結した八丁池＝26日午前9時10分ごろ、伊豆市湯ケ島（本社ドローンで撮影）

カチコチ 天然アート

伊豆・八丁池 全面凍結

伊豆市湯ケ島の天城山中にある八丁池が26日、連日の厳しい冷え込みで全面凍結した。霧氷で白く染まったブナなどの自然林の中に美しい氷が広がる神秘的な光景が現れた。

池は標高約1200㍍に位置し、厳寒期には厚い氷に覆われる。毎年調査を続ける環境省自然公園指導員の土屋光示さん(63)によると、今冬は昨年12月下旬に最初の全面凍結を確認した。1月中旬に気温が上がったことで氷が溶け、24日時点で氷は池の3分の1程度しか覆っていなかったという。土屋さんは「この2日間の寒波で一気に凍っていて驚いた。ガラスのように透き通った氷でアートのよう」と話した。

（東部総局・山川侑哉）

1/26

2/20

南アルプス 魅力探求

静岡で学会 第1回シンポ 研究者ら議論

県や研究機関で構成し、南アルプスの自然環境や生物多様性の研究を進める「南アルプス学会」（佐藤洋一郎会長）は19日、第1回シンポジウムを静岡市駿河区のふじのくに地球環境史ミュージアムで開いた。山岳ファンや行政関係者ら約60人が参加し、南アルプスに関する多彩なテーマで議論した。

同学会顧問の増沢武弘静岡大名誉教授が基調講演を行い、南アルプスにのみ生息するキタダケソウなどの高山植物がどのように環境に適応しているかを解説した。県などが行った調査で、昆虫の新種や固有種が発見された事例なども紹介された。

静岡市の田嶋太環境局長らも参加したパネル討論では、地球温暖化が動植物にもたらす懸念などが指摘された。若い世代の研究者に向けては「自然に関心を持つ人たちに南アルプスの魅力をいかに面白く伝えていけるかが探求活動の出発点」などと期待を込めた。

同学会は2022年2月に設立。シンポでは23年度から研究活動への助成制度が整備されたことも発表した。（社会部・薬袋貴信）

南アルプス研究についてパネルディスカッションを行う増沢武弘静岡大名誉教授ら＝19日午後、静岡市駿河区

2/20

第５６期（２０２２年度）第５回理事会　　２０23年1月22日

於　長田生涯学習センター

伊豆ＨＣ労山会員Ｇ（野口濶資）	○	清水労山（千葉洋己）	欠	山登歩（花澤秀治）	○
（竹端節次）	○	静岡労山（加藤高志）	○	（周防紀一郎）	○
三島労山（平野悟）	欠	（砂子とみ江）	○	ＮＭＣ（海野美春）	○
裾野麗峰・ふじ山楽歩（加藤秀子）	○	安倍っ子（竹本幸造）	○	（森　英代）	○
沼津労山（鈴木みどり）	○	焼津山の会（山崎勝治）	○	浜松労山（後藤秀人）	○
あさぎり（富永政則）	○			フレンズ（鈴木哲治）	○

１　各ブロックからの報告

東部ブロック・・・1/１１　　ブロック会議
交流ハイクの打ち合わせ
当日は雨天で中止

中部ブロック・・・1/１３　　ブロック会議
２月雪山ハイク　蓼科山　２４名参加予定

２　各専門部からの報告

組織部・・・・組織数の報告について

教育遭対部・・・冬山山行報告を伝えあう
安全登山講習会（１０月２３日）清水区役所ふれあいホールにて
７１名参加（一般４名含む）
ベルクシュタット（１１月２０日）長田生涯学習センターホールにて実施
２８名参加
事故報告　　下山の事故がほとんど　　注意喚起を！

自然保護部　・・・自然保護デーの取り組み

３　県連関係

安全登山講習会（１０月２３日）・・・７１名参加（会員６７名　一般４名）
交流ハイク（1月１６日）・・・中止
県連総会・・・3月5日（日）９：３０受付　長田生涯学習センター

４　全国連盟関係

＊全国連盟評議会・・・２月１８，１９日（府中市　ホテルコンチネンタル）

５　議案書　会計　検討

原稿集約→　→印刷→　→各ブロック配布（２月半ば頃）→　→各会　会員へ

６　連絡など

総会準備　、代議員、各会で来期の理事選出などお願いします。

当日　受付などのご協力を！

＊理事の人数について

２名出しているところはなぜか？１名ではどうか？根拠が必要ではないか。会員数で何人というのが一番わかりやすいのではないか。３役は別カウントになっているが出せないところは仕方ない。
結論が出ず持ち越し。

＊安全登山講習会

来年度は、７月に実施。講師は、野口いずみ氏どうか。（後日連絡して、可能とのこと。）

＊ベルクシュタット　・・ブロックで

リーダー選出や集まりにくさ、日時など県連でやるより、ブロック単位のほうがやりやすいのではないか？各会でやっているものをブロックでやったらどうか。達人の利用。自分たちで勉強する姿勢で。

＊南アルプス写真展

江藤さんに頼りっぱなし。１，２回目の時に出した写真も出したらどうか。
昔と今の様子の変化がわかるものも良い。
本来の形に戻さないと無理になるかも。出展者がお金を出してもいいのではないか。

＊ブロック活動費

西部は、ブロック活動計画もないので、無し。会計で余裕が出たら、ブロック活動費を上げたい。ベルクシュタットがブロック単位になったこともあるので。

以上

雲竜渓谷　01/28

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・写真　山田敬
山行 NO.	2005
日　時	2023 年 1 月 21 日（土）晴
山　域	八ヶ岳・編笠山（2524m）
コース	長泉町 4：30 一竹沢 4：40一出発 6：50一富士見高原登山口 6：55－五又路分岐 7：13—編笠山 11：20一昼食 12：00－西岳 13：30一長命水水場 15：00 一下山 15：28一長泉町 18：00
標高差	上り　富士見高原スキー場約 1340m～編笠山 2524m＝約 1184m 西岳コル約 2340m～西岳 2398m＝約 58m　合計＝約 1242m 下り　編笠山 2524m～西岳コル約 2340m＝約 184m 西岳 2398m～スキー場約 1340m＝約 1058m　合計＝約 1242m
藪漕度	なし
難易度	非常に困難　困難　やや困難　レ普通　やや易しい　易しい
2023 年初雪山、白く風なく空青く、ブラボー！	
参加者	井上、勝又、山田敬＝3 名

私にとっての初雪山。この日のために、12 月も 1 月もハイキングに参加し、雪山トレーニングもして、体力的にも、装備も備えてきた。場所は八ヶ岳の編笠山。日帰りで行ける距離で、初心者でも危険度が比較的低いということで決めてもらった。

前日まで YAMAP で編笠山に登った人の活動日記を追っかけていたが、どうも雪は例年より少ないらしい。編笠山に行く人の多くが西岳とセットで周回している。我々も余裕があったら、同じように行ってみようと事前に 3 人で話し合っていた。

当日、朝 4 時 30 分に長泉町を出発。出発地点の富士見高原スキー場駐車場に着いたのが 6 時 30 分過ぎ。やはり雪はなかった。スキー場は人工雪で営業している。しかし、猛烈に寒い。マイナス 8 度。靴を履き替えて準備しているうちに手先が痛くなった。

止まっていると凍えそうなので、すぐに出発。しばらく歩いて、YAMAP の GPS 機能をスタートさせていないことに気づく。手袋をまた外して、スイッチオン。雪山って、こういうところが面倒。手袋を何枚も重ねていると、さっとアプリで位置確認できない。

山の標識と編笠山経験者の K さんの記憶を頼りに登り始める。しばらく道らしきところを歩いていたら、途中で山が崩れていて道が寸断されている。YAMAP で位置確認すると、知らないうちにルートを外れていた。やばいやばいと軌道修正。

スマホの電源も急に落ちてしまったので、慌てて充電。しばらく歩いたら、正規ルートに到着。「ここから編笠山まで 3 時間 15 分」と標識に書いてある。時計を見ると 7 時 50 分。到着は 11 時くらいか。早く出発してきた時間が帳消しになったけど、昼前に着くならいいかと歩き出す。30 分くらい登ったあたりから、斜面に雪が出てきた。滑ってからでは遅いということで、アイゼン装着。

ここからは、ほぼ一直線に登る。傾斜は一定なので登りやすい行程ではあるが、きついから休憩をとりながら進む。10 時 30 分ごろ、やっと木々の背丈が低くなり、森林限界が近い。振り返ると、甲斐駒ヶ岳、鳳凰三山、仙丈ケ岳などが青い空に映えて白くきれいに見える。晴れていてよかったー。

風の直撃も覚悟していたが、風がほぼない。驚くほど穏やか。天候が変わらないうちに山頂に行こうと、元気を出して、森林限界を突破。そして岩場に突入。岩場の間に雪があるので、足の置き場を見定めながら進む。

編笠山

視界が開けると、わーっと、登山者みんな感嘆の声をあげている。富士山も雲海の中にはっきり見える。北アルプスの槍もわかる。澄んだ空の下にずらっと有名な山々が見える。今日、ここに来た人はラッキーだ。

11 時 20 分山頂に到着。山頂に到達すると、北側に権現岳、赤岳、横岳、阿弥陀岳などが目前に見える。大迫力。やっぱりスマホで見た写真と本物は違う。山が大きい。景色もいいし、風もないので、ここで昼食にする。「三ツ頭から権現岳は急登だなあ。赤岳も行くまでが大変そうだ、横岳も意外に大きいな、阿弥陀南稜をＩさんよく登ったなあ」とか、ぶつくさ思いながら、カップ麺を食す。冷たい場所では温かいものがおいしい（当たり前

を実感)。THEROMS 様、温かいお湯を保っていただき、ありがとうございます（いろいろなものに感謝の気持ち)。風がないとはいえ、山頂は寒い。

腹を満たしたら、出発だ。12 時、青年小屋に向かって編笠山を下る。山の北面になるので、この辺りは雪が深い。せっかく持ってきたので、ピッケルを出す。

青年小屋

西岳に向かう

右・編笠山　左・権現岳

ピッケルが活躍するほど厳しい斜面はなかったが、歩きながら雪に突き刺して、山野井泰史の気分を味わう。青年小屋から西岳までは、積雪量があり、なだらかなルートなので、トレースを外れて、少しラッセルごっこをしてみる。なかなか西岳に着かないので YAMAP で位置確認しようとしたら、充電が切れた時点から GPS が作動していなかった。ショック。

電源が切れたら、もう一度 YAMAP のアプリも再開させないといけないのか。知らなかった。私の YAMAP の軌跡は、電源が切れた地点から再起動した地点まで直線で結ばれることに。私が編笠山に登った証明はＩさんがスマホで撮ってくれた写真のみとなった。

そういえば、今回山の会の写真係だったので、カメラで記録写真も撮らねばならず、地味に大変だった。手袋の扱いが不慣れで、ピントを合わせるとか構図を考えるとか以前で手こずった。そんなこんなで西岳に着いたのが 13 時 30 分。編笠山と富士山が並んできれいに見える。3 人で記録写真を撮ってもらう。

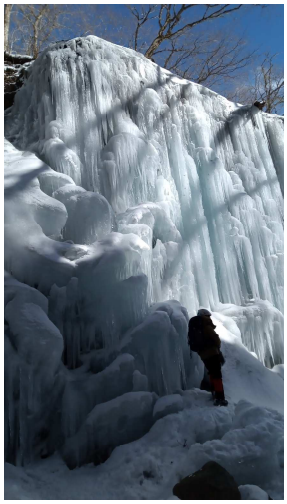
イイ山だった～！！（西岳）

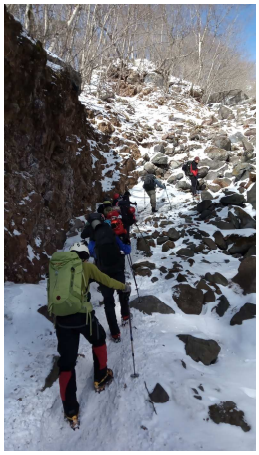
行きには、早く登って早く帰ろうと言っていたのに、いい時間になってしまった。後は一気に下山。途中アイゼンを外して、15 時 00 分、長命水の水場。雪はないけど、水場は氷でカチカチ。15 時 30 分、駐車場に無事到着。

久々に標高差１３００ｍ。雪山デビューと言っていいのか微妙な雪量でしたが、眺望よく（やはり雪山の景色はきれい！）、楽しい山行でした。

（了）

写真報告　01/29　雲竜渓谷　加藤、ほか





裾野麗峰山の会・山行報告書	文・写真　後藤
山行番.	NO. 2005
日　時	2023 年 01 月 28 日（土）晴れ
山　域	湯河原・幕山（626m＝電車で行く山）
コース	三島駅発 7:38 ー湯河原駅発 8:19 ー五郎神社 8:57 ー南郷山（611m）11:37 ー白銀林道ー自鑑水分岐ー幕山分岐ー幕山（11:31～12:30）ー幕山公園ー湯河原駅 14:25 ー三島駅ー三島駅前「源氏」（反省会）
標高差	上り　湯河原駅約 40m～南郷山 611m＝約 571m＋76m＝約 647m 下り　幕山 626m～湯河原駅約 40m＝約 586m＋70m＝約 656m
藪漕度	上り＝南郷山の笹が、やや五月蠅い
難易度	非常に困難　困難　やや困難　レ普通　やや易しい　易しい
ああ、初登山	
参加者	後藤、伊藤、井上、山田、斎藤、石沢（一般）＝6 名

大谷ヶ丸で怪我をして、約２ヶ月登山から遠ざかっていた。私的には、この日が、「２０２３・初登山」だった。

先週、伊豆ウオーキングで１０ｋｍほど歩いたが、３時間以上の登山は初めて。若干の不安はあったが、「案ずるより」である。

電車で行く山

首に問題があるので、重い荷物はご法度。ただ、昼食の「焼きもち」材料が約７ｋｇ。まあ、何とかなるだろう。勿論、仲間に至っては、「荷物、持ちましょうか」などの「甘い言葉」はなかった。

家から三島駅まで１５分歩いて乗車。日陰が凍っていて注意。湯河原駅まで、４２０－は安い。駅で自己紹介をして出発。まずは、五郎神社に向かう。

途中、交差点で車がひっくり返っていた。凍結スリップのようだ。それにしても派手に

グジャグジャ

やったものだ。

五郎神社は、大きなイメージだったが小さかった。トイレを済ませ、ここから本格的上り。農道の物凄い急登が続く。駅から１時間ほどの展望場所で休憩。皆さんに「安納芋焼き」を配った。

農道途中から、ゴルフ場脇の道を上る。昨日の雪が笹に付いて、潜るたびに頭・ザック・腕に落ちる。不快で堪らない。

ようやく、南郷山着。スッキリしない山頂だった。記念撮影後、林道に降りる。急坂に雪がベッタリで苦労した。

南郷山

白銀林道に降りて幕山に向かう。右が「自鑑水」、左が幕山。少し上ると明るい雑木林。雪が１０ｃｍほど。ひと上りで山頂。

梅の時期は、人でごった返すが、この日は、数えるほどしかいなかった。南に陣取り昼

食。皆に「餅を焼く」。以前は良くやったが久し振り。
　ただ、何故か、ガスコンロを忘れたため、Ｙさんに借りた。温かい餅は美味しい。Ｉさん持参の「ダイコンの甘酢漬け」が逸品だった。今回はビアはなし。仲間も１本と控え目。１時間で下山。

幕山山頂

昼食

梅は早かったが、紅梅は咲いていた。梅の向こうにクライマーが訓練に励んでいた。懐かしい風景。湯河原駅まで道は長い。また、電車の便が悪い。ようやく三島駅着。駅前の「源氏」で反省会。

無事に「初登山」を終えて良かった。ここまで至った皆様に感謝。多謝。　　（了）

幕山山頂

梅園

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・勝又　　写真・後藤、井上
山行 NO.　2005	
日　時	2023 年 02 月 04 日（土）晴れ・2352 強風
山　域	宝永山 2352m峰
コース	本隊＝須山登山口 8:33 ー幕岩上ー三辻 10:00 ー 2352m峰 11:33 ー登山口 13:47 分隊＝三辻 10:00 ー登山口 11:11 ーお胎内温泉（昼食）ーＧ邸・直会
標高差	上り　須山登山口約 1340m～宝永山 2352m峰＝約 1012m
藪漕度	なし
難易度	非常に困難　困難　やや困難　レ普通　やや易しい　易しい
温泉ナシは残念だった	
参加者	分隊＝後藤、加藤、伊藤、合谷　　本隊＝井上、御殿庭＝勝又

２月４日、本日は７０歳以上３人と５０歳、６０歳台３人の２組に分かれて富士山、宝永下 2352mを目指して登る計画だ。

昨年の２月１２日に二ッ塚に登った時には駐車スペースを作るために雪かきが必要で登る前にひと汗をかいたが今年は雪がまるでなく、すでに１台駐車してあったが、楽に駐車できた。

準備が終わった後、G さんの快気祝いと少し早い誕生日を祝った幕をもつてみんなで記念撮影を行う。

幕岩～三辻間

８時３０分、須山口下山道入口を出発。登山道に雪は積もっているがサラサラしていてまわりも地肌が見える程度しか積もっていない。

須山御体内胎内入口から、水ヶ塚方面からの道との分岐を過ぎ比較的なだらかな道を順調に登り幕岩上分岐に９時３０分到着。さすがにこの辺りまで来ると雪の量も増えてくる

が昨年に比べると半分もない。ここからは傾斜もきつくなってくるのでゆっくり確実に登って行く。

９時４５分、三辻に到着。ここで７０歳組に６０代のＧ谷さんが加わり四人は四辻方面へと向かうことになり５０代のＩさんと私の２人は御殿庭へと向かう。

三辻

私とひとまわり年齢の違うＩさんはさすがに元気でどんどん先行してゆく、傾斜がけっこうきついが私はマイペースで登って行く。子天狗岩をすぎれば御殿庭まではもうそう遠くはない。この辺りまで来ると風も強くなってきた。御殿庭に向かう緩やかな上りを過ぎるともう少しで御殿庭上に着く。このあたりから雪の下が凍りはじめているのでアイゼンを着けようか迷ったがもう少し上までこのまま行くことにする。

11 時 15 分、御殿庭上に到着。はるか先に Ｉ さんの姿がみえるので後を追いかけるが 2200m 付近でＩさんが戻ってくるのが見えた為、此処で帰りを待つことにする。残念だが今回はここまでとした。風も強くガスもかかり始めたので丁度いいのかもしれない。

Ｉさんは 11 時 30 分少し前に 2350m峰についたようだ。ここでＫさんから連絡があり現在地を報告し風も強いので三辻まで下って昼食をとるが途中で自衛隊の東富士演習場で野焼きが行われているのが確認できた。食事中。3 人ほど登ってきて行けるところまで行くとゆうことだったが宝永の辺りはガスがかかって下からは確認できない状態だった。

野焼き

食事後一気に下って 13 時４６分下山。途中 K さんから連絡がありほかのメンバーはすでに温泉でまったり状態。これから迎えにくるというので I 君とビックリ。待っていてもしょうがないので途中まで歩いて下ろうかなどと話して入るところに迎えが到着。

御体内温泉のメンバーを拾って、これから G 谷邸で反省会のため途中で買い出しをし、G 谷邸では焼肉や刺身で G 谷さん手造りのクラフトビールをご馳走馳になり、温泉に入れなかったのは残念でしたが、いい一日でした。

直会

左のビアは「ＧＹビール」

快気・誕生日お祝い

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・合谷　　写真・後藤
山行番	NO.2006
日　時	2023/02/11（土）晴れ・非常に暖かい
山　域	曽我梅園・不動山（最高峰・328m）
コース	上大井駅 8:39－いこいの村 9:41－浅間山 10:10－不動山 10:40－六本松手前（昼食）11：09～12：00－曽我別所 12：08－高山（三角点、点名・曽我山）13：26－国府津駅 14：41 ー三島駅前「源氏」反省会ー長泉（徒歩）
標高差	上り　上大井駅 40m ～ 不動山 328m＝約 288m 下り　不動山 328m ～曽我別所 30m＝約 298m 上り　曽我別所 30m ～ 高山 246m＝約 216m　　上り合計＝504m 下り　高山 246m ～ 国府津駅 20m＝約 226m　　下り合計＝524m
藪漕度	展望台先に少し
参加者	後藤、加藤、井上、伊藤、山田敬、斎藤、合谷＝７名

今回は久々の電車を使ったハイキングで、私としては初めての曽我梅園・不動山へのハイキングだった。後で、ネットで調べて見ると曽我の里、別所梅林 梅まつりが２月４日から２６日まで開催されているようで、梅見をするには一番いい時期のようであった。

上大井駅

各参加者は御殿場線で下土狩駅７：００、納米里駅７：０４、裾野駅７：０８に乗車して、出発地点の上大井駅に８：３０に到着。(それにしても御殿場線は単線のせいか各停車駅で停車時間が長くてかったるい)

昨日１０日は南岸低気圧の影響で全国的に雪が降り、寒い一日であったが、本日１１日は南から暖かい空気が入ってきたせいか晴れていて春の陽気である。

また、昨日の雪（雨）で大気中のほこりがきれいになったせいか、視界もよく遠くの景色もはっきり見えて、絶好のハイキング日和である。

ロウバイ

８：３５に上大井駅を出発し、しばらく一般道を歩いてからいこいの村に向かう林道に入ると蝋梅のいい香りとともに青い空と白い富士山を背景に蝋梅の黄色いかわいい花や鮮やかな紅梅の花が咲いており、素晴らしい風景である。

９：３０にいこい村の農村公園に到着。ここで一服して富士山をバックに参加者で富士山ポーズして記念写真を撮った。また、視界がいいせいか富士山と矢倉岳や金時山くっきり見えて、本当にいいハイキング日和である。

９：４０に農村公園を出発し、不動山への途中にある浅間山（標高点・３１７ｍ）には気付かずに通過して、１０：３５に不動山に到着。計画では不動山で昼食となっていたが、

あまりに展望が悪いので、ここは通過して六本松へ進んだ。

不動山を下って林道に出ると展望が開けてきて、白梅の梅林が目に飛び込んできた。日当たりの良い斜面にちょうど咲き始めた白梅が青い空に美しい。

さらに下り、六本松の手前に展望のいい広場があったので、そこで昼食を取ることにした。（そこにはベンチもあり、ベンチで地元の年配のグループの方が昼食を楽しんでいた）

天気はいいし、春のように暖かいし、展望は抜群だし、昼食場所としては最高であった。（昼食もビールも本当に美味しかった）

１１：５５に昼食場所を出発して５分程下り六本松に到着。そこから曽我別所まで急こう配の下りが続き、１２：３０に曽我別所に到着。

三本松下

ここでは白梅だけでなく、ピンク色の紅梅もたくさん咲いており、青空に白とピンクの梅花のコントラストが素晴らしかった。

曽我別所では梅まつりが開催されていることもあり、観光客も結構多かった。ここから高山（曽我山２４６ｍ）の頂上を目指して急登を登り始めたが、お昼のビールがまだ残っているせいか足が重くて大変な急登であった。

その途中に相模湾/足柄平野/箱根連山/富士山を見渡せる見晴台に立ち寄り、さらに水路のような細いコンクリートの道を登って、１３：２０に高山に到着。

頂上には三角点があったが、不動山同様に全く展望がない。そこから終点の国府津駅に向かって、急坂を下り始めた。

途中に柑橘類の無人販売所があり、一袋１００円と安かったので、私はデコポンを購入した。

１４：３０に国府津駅に到着。帰りは国府津駅から東海道線で帰路に就いた。

今回のハイキングは天候に恵まれて、梅林だけでなく富士山等の眺望を満喫できる素晴らしいハイキングではあったが、アップダウンの繰り返しもあり、通常の山行以上に足が非常に疲れた。

高山・三角点（点名・曽我山）

三本松上

その他の記述（後藤）

１．御殿場線・下土狩駅（なめり駅）～上大井駅＝８６０－、興府津駅～三島駅＝７７０－

２．いこいの村途中の農園に「自由試食」ミカンが美味しかった。以後、「ミカン狩り」が続いた。

３．いこいの村公園に桜が咲き、早くも「お花見」の方がいた。北に雪の丹沢連峰が大きかった。

４．いこいの村から、三本松は、地図上は尾根を進むが、何故か殆ど展望がない。

５．曽我別所は「梅まつり」もなく、甘酒・お汁粉期待の女子は残念だった。

６．「展望台」は多くの観光客が上って来ていたが、全く期待外れだった。

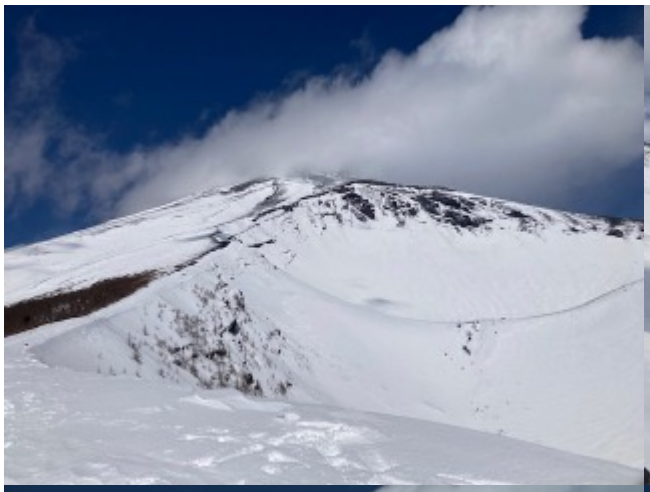
７．「展望台」から、高山の地図読みルートは、「超難関ルート」。恐らくここを上って高山に至るは、殆どの方が読めないだろう。

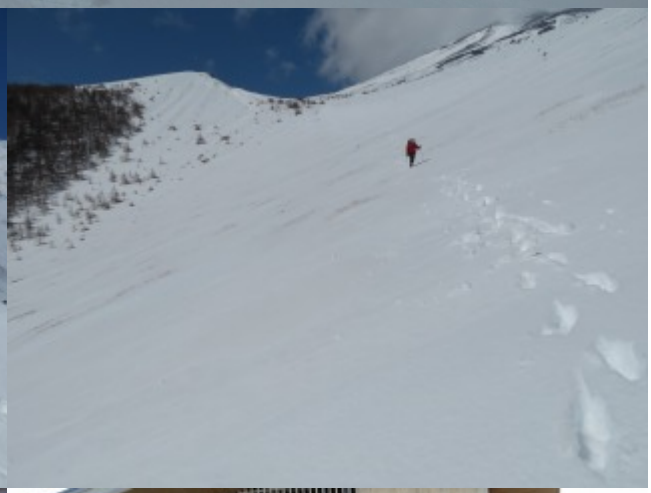
８．高山は、「二等三角点・点名は曽我山」。ミカン畑の中にポツンと佇んでいる。

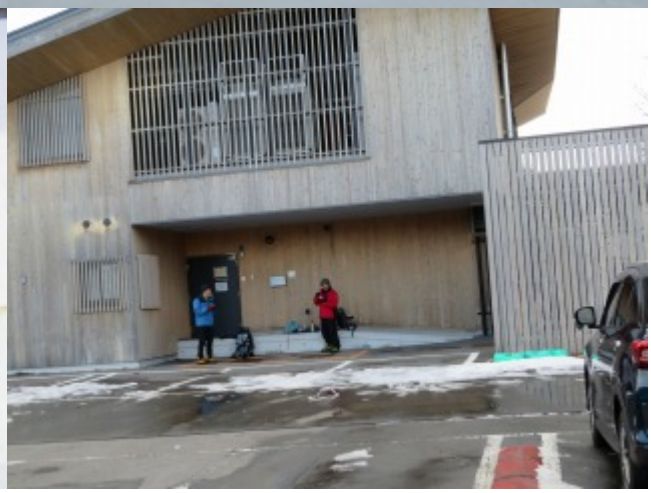
９．国府津駅まで結構長く、かつ、農道が複雑で分かり難い。　以上

写真報告　個人山行　1/16（木）　天城・八丁池　６名

写真報告　会山行　1/18（土）　富士山・宝永山 2352m 峰＝2 名、宝永山分岐＝2 名







日本勤労者山岳連盟
静岡県勤労者山岳連盟・東部ブロック
長泉裾野・麗峰山の会（愛称・れいほう山の会）

会報「れいほう」
2023/02/25
第 28 期・12 巻　　2023/3 月号　　NO.259
連絡先 静岡県駿東郡長泉町下土狩 1541-12 徳山荘
090-8956-9990 055-986-6075

HP　http://susono-reihou.babyblue.jp/
Mail　takanori_reihou8888@yahoo.co.jp

2023 年賀ハガキ当選切手

富士高砂酒造「新年蔵開きでＫ嬢が当選」